

## 九重連山縦走（ミヤマキリシマを訪ねて）

布引支部 渡田哲夫

・日時：令和4年6月2日（木）～5日（日）  
（3日～4日 九重連山縦走）

・参加者：渡田、伊知地、坂田

【6月3日（土）】

この度の九重連山縦走は6年前の単独行で感動した「あのミヤマキリシマをもう一度・・・」ということで丁度時期的にも同じ時期を選びました。前回と同じくフェリー、電車、バスを乗り継いで行く予定でしたが、フェリー代が上がっており結局ツアーに参加することにしました。我々が参加したツアーは約40名。この時期、九重連山は「ミヤマキリシマ」の最盛期で各地から沢山の人がきていました。我々が乗ったフェリーは朝7:00前に別府観光港に着きました。観光バスは湯けむり上がる別府の町を抜けて大分自動車道～やまなみハイウェイを通り9:00前に牧ノ戸登山口に到着しました。途中、鶴見岳・由布岳が綺麗に見えました。牧ノ戸登山口を9:10分出発。40名を2班に分けて行動します。登り始めは石の坂道で30分程登ると沓掛山に着きました。空は晴れており日差しがきつく感じました。久住分れの避難小屋に着くと目の前に壮大な久住山が現れました。ここでしばらく休憩。行動食を取りました。今日は天気が良いので山容が綺麗に見えます。



久住山



久住山頂にて

久住分れから久住山頂までは急坂で山頂直下は岩がゴロゴロしています。30分程で山頂到着。山頂は狭いので記念写真を撮ってすぐに下山にかかります。続いて九州本土最高峰 中岳（1791m）を目指します。登ってきた道とは違って稲屋山の西側、東千里ヶ浜を通って中岳に登ります。池ノ小屋で休憩しそこに荷物をデポして中岳山頂へ。20分程で中岳山頂に到着しました。山頂は狭く、写真を撮ってもらってすぐに下山しました。



中岳山頂



御池

デポしていた荷物を背負いいよいよ本日の宿泊場所である法華院温泉山荘に向かって出発です。出発してすぐに御池が見えました。御池は九重山の火口跡に水をたたえる火口湖です。天狗ヶ城を右手に見て御池のほとりを進みます。進行方向には硫黄山が見えています。硫黄山の煙を左手に見ながら北千里ガ浜をひたすら歩きます。途中休憩を取り、行動食を食べました。



硫黄山

法華院温泉山荘には予定より早く 14:40 頃に到着しました。荷物を置いてすぐにお風呂に入りました。汗を流してサッパリしてビールで乾杯!! 夕食までの間時間があるので近くを散策し、高原の涼しさを満喫しました。夕食後、明日に備えて 20:30 には床に就きました。

### 【6月4日(日)】

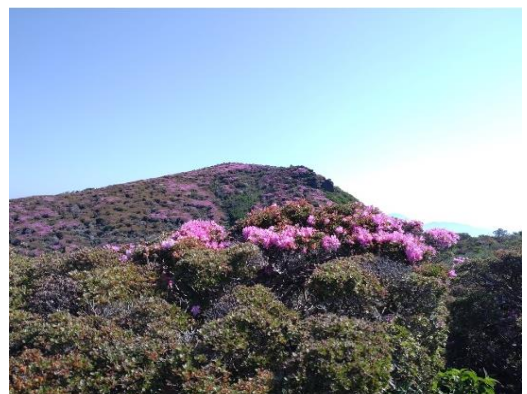
朝 6:10 朝食。6:50 法華院温泉山荘を出発。本日も晴天です。山荘を出て坊がつるのテント場でトイレを済まし、平治岳に向かって登っていきます。火山灰土でぬかるむ登山道には登山道保護の協力をお願いする「1人1石運動」の看板がありました。歩きにくい道を1時間程歩くと大戸越に到着です。ここから平治岳に登ります。荷物をデポして一方通行の登山道を登ります。「ミヤマキリシマ」は満開ですが、ほとんど虫に食われています。6年前と比べると雲泥の差がありました。ミヤマキリシマの最盛期だけあって山は登山者で溢れていました。平治岳南峰から平治岳への登山道ではあちらこちらで渋滞が発生していました。



坊がつるキャンプ場



法華院温泉山荘の前でくつろぐ乙女?達



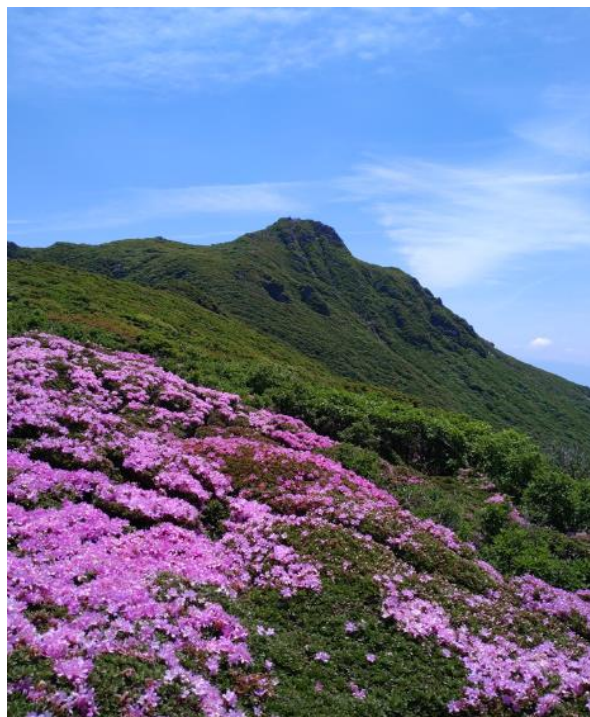
平治岳のミヤマキリシマ

平治岳から大戸越に下りてきて行動食を食べました。お腹が膨れたところで北大船山への登りです。1時間弱登ると北大船山に着きました。天気が良いので景色は最高です。ここから少し登って段原で休憩しました。段原にザックをデポして大船山に登ります。見るだけできつい登りです。しかし、20分で山頂に着きました。山頂は岩場で記念撮影をしてすぐに下山。段原で小休止してから荷物を背負って下山にかかります。1時間程下って坊がつるに到着。坊がつるで最後のトイレ休憩をして長者原まで長い道の下山します。ここからはきつい道はなく、雨ヶ池越で九州自然歩道をゆっくりと歩きました。



平治岳山頂（後ろは三俣山）

長者原には 15:00 過ぎに到着しました。バスに乗り 1 時間程で別府に着き、温泉で 2 日間の疲れを癒しました。別府観光港から 19:35 発のフェリーで帰途につきました。この 2 日間、非常に良い天気で九重の山並みを十分に楽しむことができました。ただ、ミヤマキリシマは虫に食われ 6 年前の感動はありませんでした。



大船山（北大船山から）



北大船山山頂



大船山山頂